

NO. **414**
2025.6・7

CENTER NEWS



目 次

理事長退任挨拶	寺西 一哲…………… 1
4・5 月定例理事会	…………… 2
第 45 期通常総会開催報告	森 辰義…………… 3
若手技術者室内試験体験会に参加して	横田 勇璃…………… 4
中堅技術者室内土質試験講習会に参加して	佐々木 一真…………… 5
NEW FACE	松岡 令子…………… 7
会社探訪記（株東京ソイルリサーチ 関西支店）	…………… 8
委員会新メンバー紹介（教育・技術小委員会）	…………… 10
2024 年度顧客満足度アンケート調査結果	…………… 12
委員の独り言	工藤 高弘…………… 13
編集後記	荒谷 賢一…………… 14

表紙説明

厳島神社（広島県）

厳島神社の大鳥居は、総重量は約 60t で木造の鳥居としては、日本最大とされ国の重要文化財に指定されています。根元は海中に置かれているだけですが、地面を固めるためそれぞれの柱の下に松の丸太（杭）を打ち込み、総重量 60t とされる大鳥居の安定性を高める工夫がされています。これを千本杭と言います。

（文責：松元）



理事長退任挨拶

寺西 一哲

5月28日の第45期通常総会で理事長を退任いたしました寺西でございます。私、理事として16年、その間理事長を8年間努めました。振り返ればあっという間の16年間であり、その間には色々な事がありました。特にセンターの人事面、収益面、設備投資、営業面、支援事業等の運営に深く関与したものと自負いたしております。私の理事長在任期間は業界の好景気にも恵まれて、受注金額および利益が増大いたしました。その結果、利益還元として過去最高の利用分量配当が出来ました。これは、組合員の皆様をはじめ、組合役・職員の皆様のご協力のお陰であると深く感謝しております。その間、組合への新規加入企業が10社あり、現在、組合員数は54社に至っております。また、センターの設備投資として、新規試験機の導入、既存試験機の増設、未来に繋がる技術開発に注力し、生産性向上に努めました。

収益の増加は売上もさることながら、生産性向上が大きな理由であると確信しております。これは、組合員様のご協力と、センター役・職員、理事の頑張りであると思っております。センターの顧問として関西大学の西形先生、神戸大学の澁谷先生、大阪公立大学の大島先生をお招き致しました。センターのPR面や技術面、支援事業等に多大なる貢献をして頂き、当センターの知名度、地位も向上しております。又、歴代理事長並びに歴代理理事の方針を引き継ぎ、借入金をすべて返済し、無借金運営を継続しております。センターの持続性を維持するために、若手職員の採用を積極的に行い、バランスの良い年齢構成を構築しております。加えて、センター職員のスキル向上と営業力強化を図るための教育にも力を入れ、併せて組合員の技術社員の技術力向上を目的とした講習会、勉強会等の支援サービスにも充実を図っております。当センターは一般財団法人国土地盤情報センターの検定業務も、新規事業として行っており、この事業は収益面にも貢献しつつ、全国的に当センターの知名度を上げております。

私の、理事長最後の年に「大阪・関西万博 EXPO2025」が開催されております。このイベントは、私個人的には節目の集大成であると、感慨深く思っております。この通常総会の役員改選で新しい体制が発足し、今まで以上に組合役・職員一同、品質・技術力の向上に注力し、業務に邁進して頂きたいと思っております。組合員の皆様におかれましては、引き続き更なるご支援・ご協力・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に理事長職を8年間努めさせて頂き、組合員ならびに組合職員、関係者の皆様に深く感謝の意を表し、理事長の退任挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和7年4月26日（水）12時30分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事9名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
3月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 3月分事業報告の件
- 3) その他の件
 - (1) 組合員代表者変更のお知らせ

【審議事項】

- 1) 第45期通常総会議案書（案）承認の件
 - (1) 令和6年度事業報告書（案）承認の件
 - (2) 令和6年度決算書（案）承認の件
 - (3) 令和6年度剰余金処分（案）承認の件
 - (4) 令和7年度専務理事報酬を含む役員報酬（案）承認の件
 - (5) 令和7年度借入金限度額（案）承認の件
 - (6) 令和7年度（第46期）事業収入計画（案）並びに収支予算（案）承認の件
 - (7) 定款変更の件
 - (8) 粒度試験（沈降）自動測定装置の運用について
 - (9) 役員改選の件
- 2) 第45期通常総会当日の役割分担について
- 3) その他の件

令和7年5月28日（水）12時40分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事9名が出席して開催した。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
4月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 4月分事業報告の件
- 3) 第45期通常総会担当確認の件
- 4) 第45期通常総会後の手続き等の予定の件
- 5) アンケート結果について
- 6) その他の件
 - (1) 業務ソフトの進捗状況について

【審議事項】

- 1) 令和7年度（第46期）臨時総会開催日時・開催場所・特別講演会について
- 2) その他の件

第 45 期通常総会開催報告

副センター長 森 辰義

5月28日、大阪キャッスルホテルに於いて、第45期通常総会を開催致しました。寺西理事長の挨拶の後、窪田副理事長が議長となり、すべての議案は滞りなく承認され、無事終了致しました。

総会にて役員改選が行われ、理事9名・監事2名が就任致しました。その後の理事会において、次の方々が以下の通り選任された事をご報告致します。

理事長	窪田 博之	株式会社 アテック吉村
副理事長	竹内 功	株式会社 関西土木技術センター
副理事長	甲斐 誠士	大日本ダイヤコンサルタント 株式会社
専務理事	八谷 誠	協同組合 関西地盤環境研究センター
理事	高松 博司	株式会社 キンキ地質センター
理事	高村 憲明	株式会社 K G S
理事	小路 博之（再任）	株式会社 ヨコタテック
理事	前田 直也（新任）	中央開発 株式会社
理事	古川 英輔（新任）	株式会社 オキココーポレーション
監事	山本 善浩	双葉建設 株式会社
監事	竹末 圭一郎	株式会社 白浜試錐

通常総会に引き続き、懇親会が開催され、窪田新理事長、大阪府中小企業団体中央会の谷山事務局長様の挨拶のあと、一般社団法人関西地質調査業協会 大久保副理事長様の乾杯の発声で和やかに始まりました。

甲斐副理事長の中締めで懇親会は盛会の内に終了致しました。



寺西理事長の挨拶



窪田新理事長の挨拶



大阪府中央会
谷山事務局長様の挨拶



新役員一同



若手技術者室内試験体験会に参加して

株式会社 関西土木技術センター
横田 勇璃

4月に開催された若手技術者室内試験体験会に参加させていただきました。私は入社して1年が経とうとしており、普段は主に測量業務に従事しています。そのため、室内試験に関して、知識や経験はほとんどない状態での参加でした。当初は不安もありましたが、体験会は初心者にとっても非常に分かりやすく、とても有意義な内容でした。

試験の概要説明から始まり、物理試験・力学試験・材料試験といった実際の試験にも触れることができました。特に印象に残っているのは、一軸圧縮試験や、三軸圧縮試験です。供試体を自分で成形する作業から始まり、試験では目の前で試料が徐々に変形していく様子を見ることができ、普段の業務では経験できない貴重な体験でした。

また、職員の方々が一人ひとりに丁寧に対応してくださり、説明もわかりやすかったため、初歩的な質問でも気兼ねなく聞くことができました。そのおかげで疑問をその場で解消でき、理解を深めることができたと感じています。また、現場全体に話しかけやすい雰囲気があり、初対面の参加者同士も自然と打ち解けやすく、終始リラックスして学ぶことができました。

今後、自分が携わる業務の中でも、こうした試験に関する知識が必要になる場面が出てくると思います。今回の体験をきっかけに、より幅広い視野を持って業務に取り組んでいければと感じました。

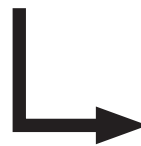
ご多忙の中、このような貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。こういった機会があれば今後も積極的に参加していきたいと思っています。



液性、塑性限界試験の体験セット



岩石の一軸圧縮試験（試験中）



試験後（破壊時、凄まじい音に驚きました）



中堅技術者室内土質試験講習会に参加して

株式会社 KGS
技術部 佐々木 一真

令和7年5月16日に開催されました中堅技術者室内土質試験講習会に参加させていただきました。拙い内容ですが、参加内容の概略や思ったこと、感じたことを述べていきたいと思います。

中堅技術者室内土質試験講習会は、組合支援サービスの一環として今年で2年目の開催の運びとのことで、開会冒頭挨拶でもこの会への力の入り具合が参加者目線からも感じられました。その開会挨拶の中で思い出したのは、私が現在の会社に入社した年に、若手技術者体験会へ参加させていただいたことでした。学校では地質の勉強をしてきてはいたものの、実際にその知識を用いて建築的、土木的、地質的な見解や提案をお客様へ提供する「仕事」をする者としては、あまりにも若輩者でした。この若手技術者体験会では、室内試験で得られる情報はどのようなもので、何に必要であるかを、実際に試験を体験しながら学ぶ良い経験となりました。今回の中堅技術者室内土質試験講習会は、これまで仕事を通して学んできた内容を復習する意味でも、気を引き締めて参加いたしました。

講習会は、岩石試験の概要から始まりました。岩石のでき方など、地質学的分野のとりつきやすい内容ののち、各種基準や試験の方法、試験の目的、注意点、得られる結果を解説していただきました。ただ、やはり基準や数式等の座学は堅苦しいものになってしまいがちですが、この講習会には実際に試験状況の見学がプログラムに組み込まれているため、講習で学んだことをすぐに「見て」インプットすることができました。私も業務の中で岩石試験を依頼したことはあるものの、実際の内容を見たことはなく良い経験となりました。岩石の圧縮強さ試験の見学では、圧縮による破壊音の大きさに驚きました。



岩石の圧縮強さ試験機（左）と実際に圧縮した岩供試体（右）

次いで三軸圧縮試験の概要では、各種三軸圧縮試験、繰返し三軸試験（液状化特性、変形特性、ねじりせん断、修正ニューマーク D 法）、せん断波速度測定について解説していただきました。解説の中で、あまり理解できていないなと感じていた液状化特性については、実際に試験状況を見ながらの解説もしていただけたので、大変貴重な体験でした。

3つ目の講義では、三軸圧縮試験結果の解釈と実際の解釈への適応を、例を交えて解説していただきました。土の強度定数とはなにかという、業界に携わる者としては外せない内容の確認から、実際に三軸圧縮試験にて得られた試験値は何を示し、その試験値は妥当であるかなど、「仕事」において技術的判断が必要なポイントなどを解説していただきました。得られたデータをそのまま適応する前に、試験値に違和感はないか、違和感がある値は疑ってみて、一旦視点を変えて捉えてみるのも必要な技術的判断といえるのだなと、あらためて感じました。

講習会後には懇親会も開催していただき、同じ業界で働く方々と交流する事も出来ました。普段は仕事で室内試験の依頼をする際に電話で会話するセンターの方々とも、実際に顔をつきあわせての交流や情報交換を行うことができ、大変意義深い時間を過ごせました。試験状況の見学時感じたところでは、センターに在籍している方々は自分よりも若い方が多いようです。どの業界でも若手の担い手不足が取り沙汰される昨今で、この業界に携わる若手が多く感じられたのは嬉しく思いました。

今年は組合創立 45 周年とのことで、自分が生まれる前からこの業界に貢献されている組合の節目にあたる行事に参加できたことに感謝し、5年後の 50 周年という大きな節目には、この業界に少しでも貢献できていると胸を張っていただけるよう、エンジニアとして日々自己研鑽していく所存です。

この度は中堅技術者室内土質試験講習会と懇親会を開催していただき、ありがとうございました。

※以下、プロフィールとなります。

株式会社 KGS

佐々木一真

大学では地質学専攻（変成岩）

NEW FACE

協同組合 関西地盤環境研究センター 松岡 令子



このたび、関西地盤環境研究センター総務経理室に入所いたしました松岡令子と申します。ご縁をいただきましたこと、大変光栄に存じます。温かく迎えてくださった皆様のおかげで、毎日楽しく出勤しております。

これまで土質試験について全く知識がありませんでしたが、皆様が社会の安全を支える重要なお仕事をされていることを知り、その一端を担えることにやりがいを感じるとともに、大きな責任も感じています。

私は20代・30代の間、三人の子育てに追われながら、さまざまな業種・職種に挑戦してまいりました。経理の仕事は久しぶりの業務となるため、まだまだ未熟ではありますが、先輩方に教えていただきながら、一つひとつ着実に学び、少しでも早く皆様のお役に立てよう、誠実に取り組んでまいります。至らない点多々あるかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

また、仕事と同じように力を入れていきたいのが「体力づくり」です。将来の目標は「孫と鬼ごっこができる元気なおばあちゃんになること」。最終的には「ひ孫と折り紙ができる曾祖母ちゃん」を目指しています。しかし現状では、少し重い荷物を持つだけでも大変で、体力の衰えを実感する日々です。かつては力仕事にも自信がありましたが、最近はすぐに疲れてしまい、がっかりすることも増えました。今年こそは適度な運動を習慣にし、幼稚園児と鬼ごっこができるくらいの体力をつけていきたいと思っています。

体力がつき、自信が持てるようになったら、さらに新しいことに挑戦していきたいと考えています。まだまだ未熟ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



我が家のペットの『げんきくん』です。
ネザーランドドワーフの7歳です。
名前を呼ぶと飛んできてくれる良い子です。
毎日癒しをもらっています。

かいしゃたんぼうき

株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店

会社設立 | 昭和41年4月
資本金 | 1億6,500万円
主たる業務 | 地盤調査全般、構造調査設計、土木設計



〈インタビュー風景〉

Q.1 社内の雰囲気は どんな感じですか？

A.1 若手の多い支店です。各自自分の
仕事をしていますが、活気があり
会話も多く和気あい
あいとしています。



東京ソイル 野呂さん

Q.3 社員のかたは どのような方が多いですか？

A.3 業務ごとに担当が決まっているの
で、各々が自分に任された仕事を
黙々とこなす職人タイプの方が多
いです。

Q.2 どのような仕事を 得意とした会社ですか？



センター 仲西

A.2 ボーリング調査を柱とした地盤調
査業務がメインです。
ゼネコンや設計会社発注の民間の
業務が多いです。

Q.4 皆さんで一番盛り上がる ときはどんな時ですか？

A.4 部署内で定期的に飲み会を開催し
ています。役職の垣根を超えて交
流を深めています。おかげで距離
感の近い関係が築けています。



〈試験室の様子〉

Q.5 仕事上の失敗談はありますか？

A.5 現地踏査で山の中を歩いているときに気になることがあり、「あの図面を持ってくればよかった…」と後悔しました。

Q.6 その失敗をどのように次にいかせていますか？

A.6 調査は段取り8割。取り越し苦労になってもいいので、事前準備をしっかりと調査に望むようにしています。



センター 向

Q.7 御社に入ってよかったと思えることはありますか？

A.7 地質系の学科出身なので、自分の得意なこと・好きなことを活かすことができ、充実しています。現地調査で遠出したときはラーメン屋巡りができます(笑)



東京ソイル 北川さん

Q.8 組合員からみたセンターってどんな印象でしょうか

A.8 自社でも試験室を持っていますが、大型の地盤調査業務を受注すると土質試験が容易にキャパシティオーバーしてしまうので、助けてもらっています。

Q.9 センターのここがいいな～は、ありませんか

A.9 お客さんから珍しい試験をするよう指示されたけど、よくわからない…という場合でもセンターに相談すればだいたいなんとかしていただけたところです。



〈インタビュー風景〉



関西支店長

寺見 博敏

社長の一言

弊社は名前のとおり、本社は東京であり、今回は『支店長の一言』になります。

訪問頂いた関西支店は、若い職員が多く、上司と部下の垣根を超えた、何でも話せる関係が一番の特徴です。関西支店の社員は、当社の長期ビジョンである『地盤や構造物の調査・設計業務にワンストップで対応できる専門家集団』を目指し、日々邁進しています。

委員会新メンバー紹介（教育・技術小委員会）



キタイ設計株式会社
調査部 防災地質 G
五十嵐 慎久

2025-2026 年度で 3 期目の教育・技術小委員会に参画させていただくことになり、今年度の任期から委員長の大役を仰せつかることになりました。組合員各社の特に若手の皆さんやセンターの職員の皆さんに、コンサルタントとセンターの相互協力による交流や技術的研鑽を積んでいただくこと、センターの技術力やサービス内容を広く世間に周知・認知していただけるような部分で、微力ながらお手伝いさせていただければと思います。



株式会社 地域地盤環境研究所
辻 貴博

微力ではありますが、皆様により良い情報を提供できるよう努めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



川崎地質株式会社
大穂 昭人

この度、委員に就任しました大穂です。委員の一員として誠心誠意努めてまいります。



中央復建コンサルタンツ株式会社
佐川 厚志

今期より教育・技術小委員会の副委員長を仰せつかりました中央復建コンサルタンツ（株）の佐川と申します。委員会に参加させて頂き、今回が 2 期目となります。1 期目の経験を活かし、今期はより多くセンターの活動に協力できればと考えております。また、新しい委員やセンター職員の方々と交流できるのを楽しみにしております。宜しくお願い致します。



株式会社地圏総合コンサルタント
澁谷 奨

愛媛県在住。四国地域を中心に地質調査を行っています。教育・技術小委員会のメンバーになり 8 年目となりました！地質屋として、土質・岩石試験の重要性を伝えていきたいと思っております。若手の委員会メンバーに負けないように、委員会活動を頑張ります！！



基礎地盤コンサルタンツ株式会社
島田 徹也

2023年4月から教育・技術小委員会へ参加して3年目を迎えました。土質・岩石試験に携わる者として、「心変わらず」より多くの皆さんに土質・岩石試験を知ってもらえるよう委員会活動を頑張っていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。さらに、この委員会活動が社内・社外問わず、土質・岩石試験を知る良い機会となつて、試験業界の活性化へ繋がればと願っています。



株式会社タニガキ建工
谷垣 嘉基

引き続き、教育・技術小委員会に参加させていただくことになりました。今期から2期目を迎えます。前期では、センターで開催された体験会や見学会に実際に参加させていただき、活動内容への理解を深めることができました。今後も、さまざまな取り組みを通じて組合員の皆さまに貢献できるよう、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



株式会社ソイルシステム
大西 啓太郎

(株)ソイルシステムの大西です。初参加の新メンバーとして委員会に加わりました。



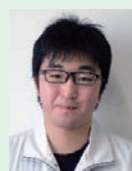
事務局 三好 功季

教育・技術小委員会の事務局を務めて9年になります。これからも体験会・講習会・見学会などの行事を継続し、委員会活動を盛り上げていきたいと思ひます。今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。



事務局 金津 正子

教育・技術小委員会で事務局をしています、センター職員の金津と申します。委員会活動を任されて、はや9年になりました。皆様のお力でここまで続けられたと思ひます。委員会活動を通じて、試験者と実務者とのパイプとなるような活動をしていきたいと思ひます。よろしくお願いします。



事務局 田上 大稀

この度、教育・技術小委員会で事務局に参加させていただくことになりました田上大稀と申します。初めてのことで至らぬ点も多々あるかと存じますが、精一杯委員会活動に取り組んでまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2024 年度顧客満足度アンケート調査結果

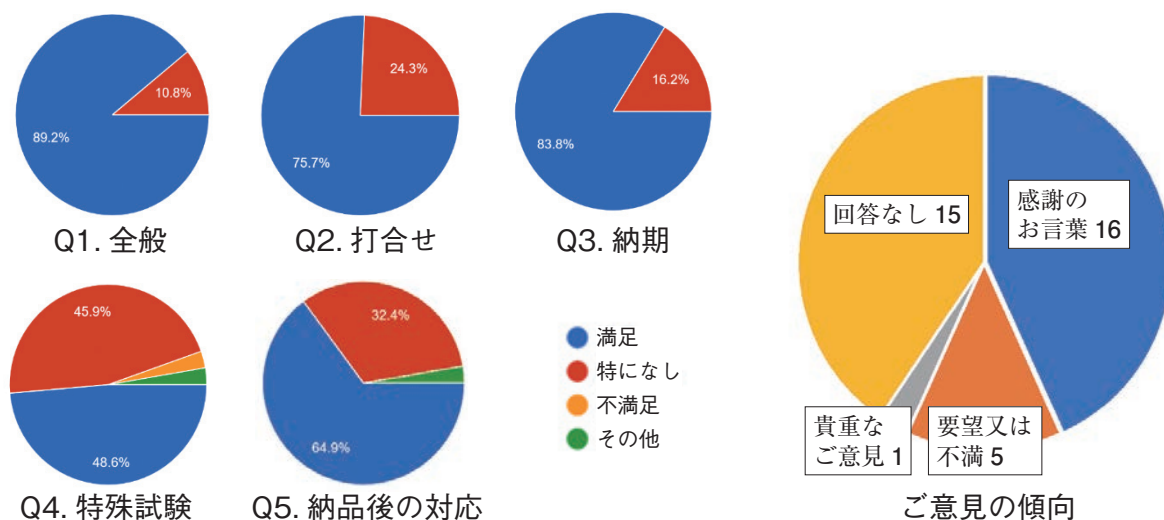
専務理事 八谷 誠

2025 年 3 月、昨年度に引き続き「顧客満足度アンケート調査」を実施いたしました。大変お忙しい中、33 組合 37 人から回答（昨年は 42 組合）をいただき誠にありがとうございました。以下、調査結果を示します。

（1）アンケート調査結果

お問い合わせは以下の Q1. ～ Q5. でした。

1. ご依頼から試験結果の納品・請求までの全般について
2. 試料搬入時や試験予約時の試験内容・納期に関する打合せの対応について
3. 搬入から納品までの期間について
4. 特殊試験（JIS 等の規格に無いもの）の問合せ・回答について
5. 納品後の試験結果の問合せ時の対応について



（2）アンケート結果に基づく現状と今後の対応策

回答率（組合数に対する）は昨年度 82% であったものが、今年度は 61% に下がった。少し回答率としては低調であった。今回初めて Google フォームを利用したためなのかどうかは不明である。来年度からは設問を変えるなどの工夫が必要と考えている。

積極的に満足したという回答率を見ると、Q1. 全般と Q3. 納期および Q4. 特殊試験に関しては昨年度と同様であった。Q2. 打合せ対応および Q5. 納品後の対応に関しては、特になしという回答が増え、積極的に満足したという回答は昨年度より低下しているが、概ね良好な結果と考えている。

ご意見を見渡したところ、感謝のお言葉を 43% の方々からいただいた。要望については対応済みではないかと思われる事柄があるので、積極的に対話をしていきたい。ミスに対するお叱りもいただいているので、今後さらなる意識改善、基本的な実務能力の向上を目指す所存である。また、貴重なご提案もいただいているので、次期中期経営計画の検討材料とさせていただきたい。

以上

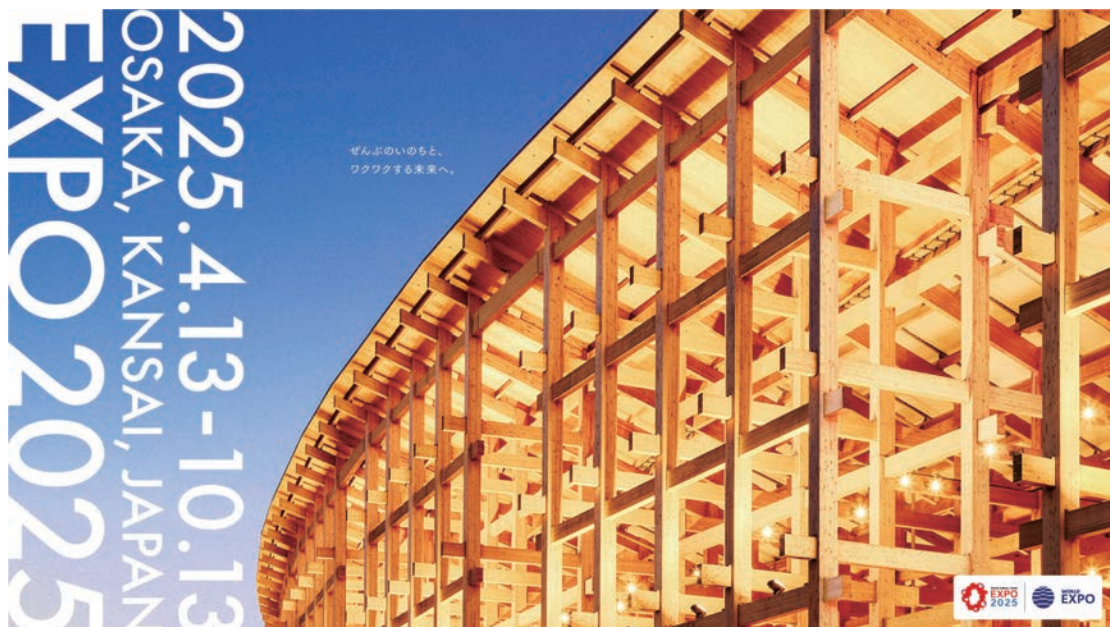
委員の独り言

大阪・関西万博が4月13日、開幕しました。約160カ国が参加し、10月13日までの184日間、大阪湾の人工島「夢洲」で開かれる大イベントです。未会館はネパールと一度開館したものの現在閉館しているアンゴラの2館だけとなったようです。(5月1日現在)

SNS等では賛否両論、話題が少しずつ大きくなってきているように感じます。最初はあまり良い話はネット上で流れていなかったように感じていましたが、最近は「行って良かった」「楽しかった」という書き込みも多く見られるようになってきたように思います。

10月まで開催されていますので、もう少し落ち着いてきた所で一度は行ってみようかなあと考えている所です。

(ビューエンジニアリング株式会社 工藤 高弘)



編集後記

★前月号で広報小委員会のメンバーを、今回号は、教育・技術小委員会のメンバー紹介を掲載しました。両委員会とも委員長が交代し、筆者も大変優秀な中谷新委員長にバトンを渡すことができ、少し肩の荷が下りた気分です。今後は、サポートに徹したいと思います。

★早速ですが、先日、新委員長、専務理事とともに三団体合同打合せに先日参加し、今年度の技術講演会と合同見学会の概要を決めました。開催は晩秋から初冬とまだ先ですが、詳細が整いましたら組合員には本冊子やメール等にてアナウンスしますので、奮ってご参加を期待しています。

★また、今回号には、教育・技術小委員会が4月に開催した若手技術者体験会の体験談も掲載しました。実は、原稿作成が筆者の直属の部下に白羽の矢が立ち、この編集後記の原稿を執筆している席の正面で部下も頭抱えてキーボードを打っています。名文が完成することを期待します。

★一つ目のコラムで後継者について触れましたが、筆者が長年関わっている地域コミュニティ等においても後継者不足による弊害が目立ちます。単に役をしたくない理由で脱会する会員が増え、PTA や子供会、自治会・町内会の存続危機を目にしています。全国的にもこの問題は加速しているようで、将来的に学校・住宅地域の絆が存在しなくなる日も近いかもしれません。

★加速と言えば、「破竹の勢い」という慣用句があります。今年に入り、「ハチクが120年ぶりに花が咲いた」とのニュースが出回りましたが、慣用句の「破竹」とは全く別物です。花が咲いたハチクは「淡竹」と書く分類名で、「破竹」は竹が縦に割れる様子を表します。最初の節を割ると、残りの部分も一気に割れるように、止めることができないほど激しいことを示します。ちなみに、淡竹が勢いよく伸びることではありませんので悪しからず。

(荒谷 賢一 記)

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06)6456-1531	大日本ダイヤコンサルタント 株式会社 江坂オフィス	(06)6339-9141
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 池田地質	(06)6797-2280	株式会社 地域地盤環境研究所	(06)6943-9705
株式会社 勇コンサルタンツ	(06)6306-6907	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897)33-3123
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 エス・ビー・シー	(0883)52-1621	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 エムアールソイル	(06)6195-6712	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
応用地質 株式会社 関西事務所	(06)6885-6357	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072)634-6373
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088)642-5330	株式会社 日建設計	(06)6203-2361
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)4861-7000	株式会社 日本インシーク	(06)6282-0310
キタイ設計 株式会社	(0748)46-2336	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 KGS	(072)279-6770	ハイテック 株式会社	(06)6396-7571
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西事業所	(06)7175-8733	ビューエンジニアリング 株式会社	(088)665-7360
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	株式会社 復建技術コンサルタント 関西支店	(06)6266-2244
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)6121-5011	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072)453-1000	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06)6336-0228
一般財団法人 GRI財団	(06)6941-8800	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371
株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)7178-1659
株式会社 大同ソイル	(0745)63-1850	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666

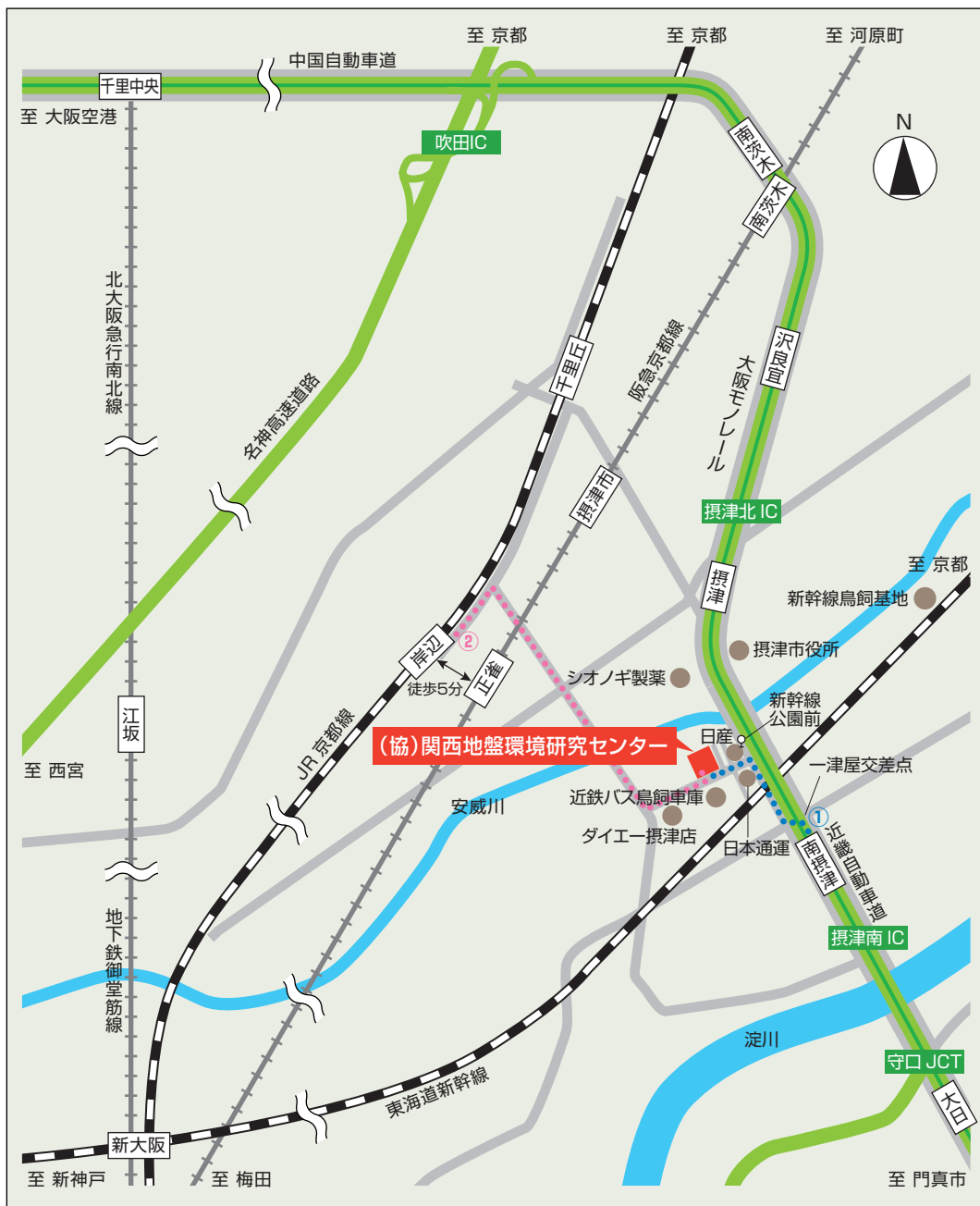
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06)6690-8353	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 創研技術	(088)652-0077	有限会社 ビュアソイル	(072)440-5137
株式会社 総合技術コンサルタント	(075)312-0653		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail info@ks-dositu.or.jp

編 集 広報小委員会
編集責任者 八谷 誠
印 刷 千里丘印刷

<https://ks-dositu.or.jp>



① 南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

② JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://ks-dositu.or.jp>